

告 辞

学長 上野 正雄

9,377 名の新入生の皆さん、明治大学への入学、おめでとうございます。

この晴れやかな日に、ここ日本武道館において、皆さんを明治大学の一員として迎えらることは本当に大きな喜びです。

また、これまで新入生の皆さんの成長を見守り、支えてこられたご臨席の皆様にも心よりお祝い申し上げます。活力に溢れた明治大学で更に大きく成長する学生達を、これからも見守ってください。

そして、この入学式をライブ配信でご覧いただいている関係の皆様におかれましても、画面を通してではありますが、共にお祝いできることを嬉しく思います。

さて、新入生の皆さん。今日、この入学式の間において、皆さんに、2つのことをお伝えしたいと思っています。

1つ目は、「明治大学の仲間になる」ということです。

明治大学は「権利自由、独立自治」という建学の精神を掲げて、歴史を刻んできました。この精神は、単なる言葉ではありません。明治大学に、そして、明治大学の仲間に、時代を超えて受け継がれてきた、生きた理念であり、行動の原理です。

明治大学が創設されたのは 1881 年。まさに日本が近代国家への道を歩み始めた時期です。封建的な価値観が根強く残っていた当時の日本にあって、岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操の3人の創立者は、すべての人が権利自由の主体である自立した個人として社会を支えるべきという信念のもと、明治大学の前身を設立しました。

権利自由とは、一人ひとりが自らの意見を持ち、それを表現することができるということです。自由な発想を持ち、他者と意見を交わすことで、思考はより深まり、新たな視点を得ることができます。独立自治とは、自らの行動に責任を持ち、主体的に学び、行動することを意味します。受け身ではなく、自ら考え、決断し、行動することこそが、成長の鍵となります。

創立以来、時として政府の方針と対立しながらも、この精神を掲げ続けてきた明治大学は、自由な学問と研究の場であり、多くの挑戦の機会がある場です。

皆さんはこの大学で、お互いに多様な背景と価値観を持つ仲間と出会い、尊重し、議論し、協力し合う、幅広い経験を通じて、新たな知を自分自身の中に生み出していくことになります。それは、皆さんの価値観を広げ、社会で活躍するための大きな財産となるでしょう。

そして、同時に、将来の明治大学の仲間に引き継がれることで、皆さんの母校となる明治大学が、未来においても、明治大学であり続けられるということです。

皆さんが、常に、「権利自由、独立自治」の精神を胸において、積極的に学び合い、切磋琢磨していくこと、すなわち、明治大学の仲間になることを期待しています。

2つ目は、「挑戦者である」ということです。

大学生活は自由と可能性に満ちていますが、それは同時に自らの力で道を切り拓くことが求められる場でもあります。皆さん自身の可能性も無限大ですが、それを開花させるためには、自ら努力し、挑戦し続けることが不可欠です。

挑戦とは、言うまでもなく、新しいことに果敢に取り組むことです。そのためには、様々な学びはもちろん、研究、スポーツ、起業、留学、文化活動、社会貢献活動、どの分野における取り組みであっても、自らの限界を押し広げることが求められます。その過程では、思い通りにいかないことや、失敗することもあるでしょう。その方が圧倒的に多いかも知れません。しかし、失敗することは決して悪いことではありません。むしろ、失敗から多くを学び、それを糧にすることこそが、成長への近道です。

日本の社会は「失敗を許さない」社会だと言われます。それは昔のことだとする見方もあるようですが、私は、むしろ、失敗に対してより不寛容な社会になっているように思われてなりません。しかし、大学生の間は、大丈夫です。挑戦して失敗してもやり直すことができます。今だからこそ、何度でも挑戦し、何度でも立ち上

がることができるのです。

挑戦しない人、つまり、失敗の経験のない人は、他者の失敗を許せません。それどころか、自分の失敗も許せません。これは、悲しく、辛いことです。

皆さんは、社会に出る前に、この明治大学で、是非、大きな挑戦、小さな挑戦、多くの挑戦をしてください。そこで失敗したら、失敗から学ぶことを経験してください。その経験は、必ずや、皆さんを強く大きく成長させてくれます。

同時に、それは、日本社会の衰退を止めることにも繋がるはずです。社会を変革するようなイノベーションを創出したり、組織を成長させたりする過程に、失敗は必ず付いて回るものです。ということは、失敗を許さない社会には、画期的イノベーションは生まれないということです。ここ数十年の日本は正にこの状態だと思います。

皆さんは、一人ひとりが、これからの日本を、そして世界を支える希望の星です。可能性に満ちた自分の将来を、そして、イノベーティブな新しい社会を創造するために、挑戦の結果の失敗を許せる人、つまり挑戦者であることを期待しています。

明治大学の仲間になるということ。挑戦者であるということ。皆さんに期待する、この2つのことをお伝えして、新たに明治大学の一員となった皆さんに送る、学長告辞とします。

入学おめでとう。